

フィリピン渡航 2020春 活動報告書

学生ボランティア団体fan×fun 国外部





団体概要

学生ボランティア団体fan×funは「楽しさで背中を押す」を理念に活動している学生団体。「本当のニーズにあった支援を届けたい」という思いから2016年に設立され、今年5年目を迎える。

青山学院大学の学生30人で構成され、国内部、国外部の二つの部署を設け、国内部は主に神奈川県相模原市で、国外部はフィリピンセブ島にてボランティア活動を行っている。

渡航概要

日時: 2020年2月

参加人数: 12人

場所: フィリピンセブ島 セブ市・タリサイ市

内容: 教育・地域開発・文化交流

※今回はコロナウイルスの影響でフィリピン政府の意向により、外国人の小学校への立ち入りが禁止されていた為、急遽活動場所はタリサイ・ロレガ地区のみとした。



(出典) 白地図専門

フェアトレード(2/12)

場所: MARS(ルーマ地域)

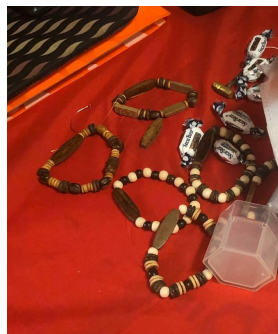
目的: ・貧困地域の生活向上 ・金銭面、精神面でのモチベーションを上げ活動を後押しする

目標: 現地の方へのインタビューを実施し、現状の把握や活動の背景などを調査する

企画概要: MARSでアクセサリーを作る現地の方を対象に

- ・販売地域やターゲット層
 - ・販売数
 - ・賃金
 - ・こだわっていること
 - ・日本人に求めること
- などについてインタビューを行った。

結果: 販売地域は現在日本とホープ地域だけだが、移動販売も今後考えていることが分かった。ターゲット層は10代から30代と幅広く、私たちが今後この層に合わせて販売を行っていききたい。MARSでは自然由来の素材を使うことにこだわっており、木材や貝殻を使ったり、紐を染める染料も自然のものを使っていることがわかったので、販売時にもそれを上手く伝えていくようにしたい。まだまだ知名度が低く、販売数ももっと増やしていくことが求められるので、より積極的な販売や認知を高める活動を行っていききたいと思う。



Suki's Book (2/14)

場所: ロレガ地区のチャペル

目的: 子ども達が自分の”SUKI”を軸に生きていけるようになる

目標: 絵本の中の”SUKI”を行動にうつして実行する

企画概要: 創作ダンス

- ①音楽が流れ始めたら最初の人 が 1区切り分自由にダンスをする。
- ②次の1区切りで同じチームのメンバーが①のダンスを真似する。
- ③順番に回して、それぞれがダンスを自由に作り、真似し合う。

(※当初は、学校でサッカー、絵を用いた伝言ゲームを実施する予定だったが外国人の小学校への立ち入りが禁止されていたため、急遽活動場所と内容を変更した。)

結果: 結論から言うと、目的・目標に沿った活動はできなかった。小学校への立ち入りの禁止という外的要因に影響を受け、予定していた活動をできなかったことに起因する。活動場所を小学校からロレガのチャペルに変更をした為、実現可能性のある企画に絞り実施した。創作ダンスでは、一部、企画内容を理解し行うことができたが、ただダンスをするだけで終わってしまったチームもある。チャペルでの企画難易度の高さと一定のノウハウを得ることができたため、団体内で活かしていきたい。



食育プロジェクト(2/15)

場所: ロレガチャペル

目的: 栄養バランスをとることにより、より健康的に生きられると現地の子が知り周りに促す。・歯磨き習慣化させる

目標: 栄養バランスを包括的に取る・歯磨きの効果的な仕方を伝える

企画概要: ①ワークショップ(●×クイズ)で子ども達に正しい歯磨きや健康について学んでもらう・

②子どもたちと一緒にカレーを作る(子ども達と野菜と一緒に切ったりカレーを混ぜたりした)

③作ったカレーを食べた後、一緒に歯磨きをした

結果: 栄養バランス・歯磨きをしっかり子どもたちに伝えることはできた。また、実際に子ども達に体験してもらうことで、楽しく企画を遂行することができたと思われる。カレー作りでは、子ども達が苦手だと思われる食材を細かくカットするなどして、残さず栄養を摂取してもらえた。歯磨きでは、年長者が年少者に歯磨きの仕方をレクチャーする場面もあり、年長者は習慣化してると考えられる。次回以降、年少者に焦点を当てられるといいかもしれない。今後は、現地の食習慣・歯磨き習慣を調査してから挑みたい。



Steps to Dreams (2/17)

場所: ロレガ地区チャペル

目的: 子どもたちが将来なりたい姿ややりたいことを想像し、薬物に走ったり怠惰になったりせずに自分の夢に向かうこと

目標: 夢やなりたい姿をイメージし具体化する

企画概要: ①夢の授業(メンバーが夢を紹介&フィリピン出身の看護師等による講演会)で様々な職業や夢について学ぶ

②低学年は夢や叶えたい事を画用紙に書く。高学年は夢とそのためのステップを考える。

結果: 小学校高学年クラスでやる予定だった企画を急遽学年も様々なロレガでやることになったが、夢の授業や夢を書くという内容はみんな真剣に取り組んでくれたように思う。一方、ステップを考えるのはロレガのコミュニティでやるには難易度が高かった。今後は、より対象の子の夢に沿ったステップと一緒に考えられるように、キャリアや現地の仕事についてもっと勉強する必要がある。



ゴミ箱プロジェクト (2/18)

場所: ロレガ地区

目的: ロレガ地域の環境の美化、不衛生がもたらす人体への悪影響をなくす

目標: ゴミを街中にポイ捨てしてはいけない理由や背景を理解し、ゴミをゴミ箱に捨てる習慣をつける。最終的にロレガ地域にゴミ箱を設置する。

企画概要: 幼稚園児から小学生を対象にゴミ拾いを含めたワークショップを行った。子ども達に向けて、ゲームを通じて現代のゴミ問題に関するクイズに参加して、ゴミをポイ捨てしてはいけない背景を知ってもらいゴミをゴミ箱に捨てるようになるための知識をつける。

結果: ゲーム形式だったため子どもたちに楽しんでもらうことができた。一方で、クイズの内容が論述形式であったりと理解するのに複雑なアクティビティであったことも否めない。今後は今回行ったロレガ住民へのインタビュー結果を分析し、ゴミ箱設置の具体的な詳細を決めたいと考えている。

